

A-1



B-1

浜口陽三展 あるかがやき

— 森芳雄の作品とともに

2018年 4/27(金) → 7/22(日)

浜口陽三（1909-2000）は20世紀後半、パリを拠点に活躍した銅版画家です。ピカソやクレーなどを扱うベルグリュン画廊と出会い、国際的なコンクールで次々と受賞を重ねました。深みのある黒を基調にした作品は、いつまでもその前でたたずんでいたくなるような、穏やかな静けさをたたえ、鑑賞者を魅了して止みません。

浜口が本格的に銅版画の制作を始めたのは1950年頃です。同じ自由美術家協会の一員だった洋画家・森芳雄（1908-1997）のアトリエを間借りして、慣れない版画と向き合う日々を送りました。つかの間ではありましたが、浜口が芸術家として開花する時代を共にした森芳雄との交流を、本展では紹介します。浜口陽三の銅版画他約50点と、森芳雄の油彩画6点、素描や資料による構成です。

戦前のパリで芸術を学び、戦後には新しい美術をつくりだそうと切磋琢磨した二人。共に抱いた芸術への崇高な憧れを感じていただけたら幸いです。

日時 | 2018年4月27日(金)～7月22日(日)

会場 | ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

入館料 | 大人600円 大学生・高校生400円 中学生以下無料

休館日 | 月曜日(4/30、7/16は開館)、5/1(火)、7/17(火)

開館時間 | 11:00～17:00(最終入館16:30、土日祝は10:00開館)

《ナイトミュージアム | 会期中第1・3金曜

20:00まで開館(最終入館19:30)

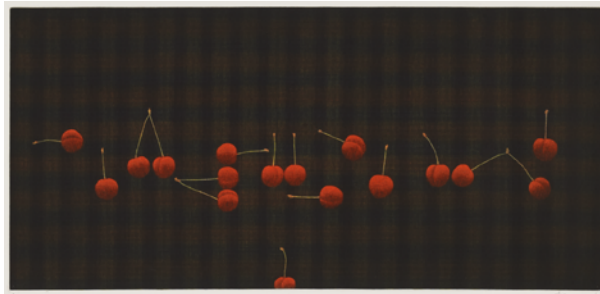
*第1・3金曜……5/4、5/18、6/1、6/15、7/6、7/20の6日間

*休館日、開館時間等は都合により変更する場合がございます。

プレスリリースご担当者様へ

作品画像の貸出はアルファベット(A1～B4)を 広報担当 新田、吉田までお申し付けください。

浜口 陽三



A-2



A-3

A - 浜口陽三

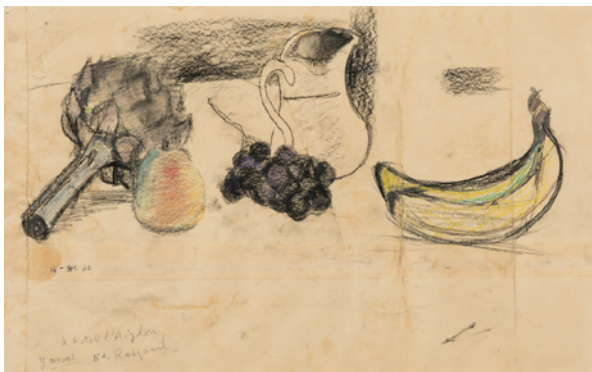
- 1 | 《メロンと筆》1955 メゾチント、紙 29.2×28.9
- 2 | 《17のさくらんぼ》1968 カラーメゾチント、紙 24.5×51.7
- 3 | 《レダ》1952 アクアチント、紙 18.0×24.0
- 4 | 《暗い背景のびんと黄色いレモン》1983-89 カラーメゾチント、紙 62.5×47.5

B - 森芳雄

- 1 | 《少女像》1932 油彩、板 45.5×38.0 (個人蔵)
- 2 | 《静物》1962 素描、紙袋 33.9×54.3 (個人蔵)
- 3 | 《枝のある静物》1930 油彩、キャンバス 65.2×80.3 (個人蔵)
- 4 | 《座像》1937 油彩、厚紙ボード 26.9×21.9 (個人蔵)



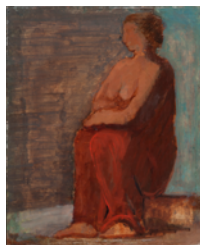
A-4



B-2



B-3



B-4

森 芳雄

森芳雄 (1908 ~ 1997)

東京生まれ。洋画家。中山巍に師事。

1950年、第14回自由美術展に《二人》を出品。

「この裸像の絵には、戦後の鬱悒な声なき慟哭が出ている」(今泉篤男)と評され、思想のこもった人物像が新しい時代にふさわしい絵画の指標として多くの画家に影響を与える。

1957年より武蔵野美術大学教授に就任。1964年には、主体美術協会結成に参加し、33回まで代表者をつとめた。1972年からは東京藝術大学の非常勤講師。1981年の渋谷区立松濤美術館の開館記念展は森芳雄展。



ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-35-7

<http://www.yamasa.com/musee/>

Tel | 03-3665-0251 Fax | 03-3665-0257 E-mail | musee@yamasa.com

アクセス | 東京メトロ半蔵門線 [水天宮前] 3番出口そば 東京メトロ日比谷線 [人形町] A2出口より徒歩8分
首都高速箱崎 I.C [浜町出口] または [清洲橋出口] T-CAT 駐車場前

◆銅版画・モノクロームメゾチント体験教室

一回の実習で製版から刷りまで行い、ポストカード大の作品を完成させます。
初めての方でも無理なく参加いただける、初心者向けの教室です。

講師 | 江本 創 (アーティスト)

日時 | 【A】6月3日(日) 【B】6月4日(月) 【C】7月27日(金) 【D】7月28日(土)

時間はいずれも 【午前】10:30 - 13:30 【午後】15:00 - 18:00

定員 | 各回12名

持ち物 | 下絵(サイズ12×7.5cm)、汚れてもよい服装またはエプロン

参加費 | 【A, B】入館料+1,800円(材料費込)

【C, D】1,800円(材料費込)

申込 | 5月8日(火) 12:00より電話にて受付開始(先着順)

*お申込は初めての方優先となります。

*お申込後、開催直前でのキャンセルはご遠慮ください。

*【C】7月27日(金)【D】7月28日(土)は展覧会会期終了後の開催となります。

展示作品はございませんので、予めご了承くださいませようようお願い申し上げます。

◆展覧会会期終了後の特別イベント

*いずれの日程も展覧会会期終了後の開催となります。展示作品はございませんので、予めご了承くださいませようようお願い申し上げます。

◆ガリ版の魅力体験しよう!

手書きのあたたかな線を印刷できる「ガリ版」。
絵や文字をかく感触や音、インクのおいなど、五感で楽しめます。
全6回のコースからお申込みください。
夏休みの自由研究などにもいかがでしょうか。

*ガリ版：正式名は謄写版(とうしゃばん)。30年前まで身近だった印刷方法のひとつ。ガリ版という愛称は、削る時に「ガリガリ」と音がすることに由来。

講師 | 玉村 塔 (謄写堂・TOUSHADO/デザイナー)

日時 | ① 7月24日(火) 「絵を描こう」

*はがき大の紙に、夏を描きましょう。暑中見舞いや絵日記の1ページにも使えます。

② 7月25日(水) 「ことばを書こう」

*はがき大の紙に、詩や自分の名前など好きなことばを手書きで書きましょう。
(左右反転のないことがガリ版のいいところ!)

③ 7月26日(木) 「ブックカバーをつくろう」

*文庫本サイズのオリジナルカバーをつくりましょう。

【大人のじかん】 ①② 18:30 - 20:00 ③10:30 - 12:00

【こどものじかん】 各日 14:00 - 15:30

定員 | 各回10名

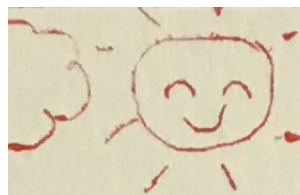
持ち物 | 汚れてもよい服装またはエプロン

参加費 | 1,000円(材料費込、お茶付)

申込 | 6月20日(水) 12:00より電話にて受付開始(先着順)

*【こどものじかん】お子さまの年齢は、ボールペンで線が描ければ特に年齢制限はございません。必ず保護者の方ご同件でお申し込みください。

*絵柄は1人1点の制作となります。



*写真はいずれもイメージです。